

# 「海 かがくのほん」

川崎市立富士見台小学校二年 岡本 知也 おかもと ともや

ぼくは海が好きです。いずしよとうの三やけじまにひいおばあちゃんが行きまいた家が、あり、夏休みは毎年あそびに行きます。三やけじまに行ったら毎日海でおよいだり、つりへ行ったたりします。三やけじまの海は水がとてもきれいです。くもちがいいです。中にいる魚がよく見えて、水ぞくかんみたいです。だからこの本を読むと三やけじまの海を思いだします。知らなかった海のこと、海を思いだしています。

ぼくはさいしよにとおあさの海について気になりました。はまぐりとあさは知っています。たけど、ほかにもいっぱい貝があることに、おどろきました。今どしおひがりに行くとき、はいっぱい見つかるかもしれせん。太平ようのことが書いてある絵を見ていると、そこでおよぎたくなり、絵を見ているやみのかさご、めじなは三やけじまの海で、ぼくも見たことがありません。でも知らないね、見た魚やサンゴもたくさんいるので、一目でも見たいです。そこにヨットで行って、およいだら、きつと楽しいと思います。

海にかんけいがあることがたくさん書いてあるから、せん水かんのこともわかります。一〇〇〇メートルまでいったせん水かんも、あります。すぐくふかくて、新しいゆの生きもの、がいっぱい見つかるかもしれない、と思いました。

海は楽しくて、おもしろいもの、だと思ってい、たけど、この本を読んでも、つとたくさんのこと、がわかりました。また海に行くときは、いっぱい、い、かんさつして、新しいはっ見があるかもしれない、ません。とてもわくわくします。